

研修医だより

●第12回北見赤十字病院 緩和ケア研修会

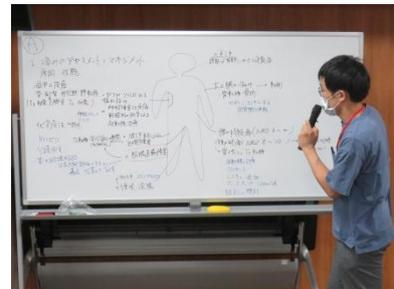
▶ 研修医 2 年目 K.T (札幌医科大学卒)

こんにちは！研修医 2 年目の K.T です。今回は 8 月下旬に開催されました緩和ケア研修会についてご紹介させていただきます。

当院はがん診療連携拠点病院に指定されています。患者さんががんと診断されたときから状況に応じて緩和ケアが適切に提供されるように、緩和ケアの基本的な知識・技術・態度について学ぶため、毎年院内で緩和ケア研修会を開催しています。対象はがん診療に携わる医師で、2 年次研修医は基本全員参加しています。

以前は 2 日間に渡り開催されていた本研修会ですが、昨今の社会情勢により集合研修は 1 日のみとなり、緩和ケアに対する基本的な知識は事前に e-learning で学びました。

e-learning はスライドと短い動画を組み合わせたもので、スライドは会話形式が主体の読み進めやすい内容となっていました。各章の最後にある確認テストで知識の定着を図り、+αの内容を学べるリンクも多数用意されている親切設計で、各章は 10-30 分前後の内容で、空き時間にコツコツと進めることが出来ました。



さて、e-learning を無事に終えていよいよ集合研修を迎えました。今回は医師・研修医・看護師・PT・ST からなる 15 名が参加しており、顔馴染みから接点のあまりない方まで様々でした。

研修の内容は講義・ロールプレイ・グループワークで構成されており、講義を聞き続けるのではなく、参加型の研修となっていました。講義は e-learning の復習からしていただけるため、分からなかったことや要点の確認ができました。ロールプレイは、がんの告知場面を医師・患者それぞれの立場で行い、実際にやってみることで初めて気づくことが医師側・患者側ともに多々ありました。グループワークでは、実際に治療計画を立てるための模擬カンファレンスを行い、退院後の介入まで含めた内容を検討しました。また、北見の在宅医療を支えてくださっている本間内科医院の本間先生より、その実情についてもご講義いただきました。

1 日という限られた時間での研修でしたが、患者さんを病人ではなく一人の人間として診療するうえで忘れてはならないことが盛りだくさんの研修となっていました。

当院ではこのように医師として必要な知識や技術を実践的に学ぶことができる研修会を多数開催しています。2 年間を通して、自ら経験できることも多く、積極的にやりたい人にとってはより力のつく研修ができると思います。ぜひ、病院見学・WEB 説明会へのご参加をお待ちしています！！